



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2020.6.11 No.375

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp

西荻窪の商店等に重大な影響 補助132号線道路拡張計画 85億円超の事業費は新型コロナ対策へ

杉並区議会第2回定例会では、西荻窪地域に重大な影響を与える補助132号線道路拡張計画について取り上げ、計画見直しを求めました。

一期区間（半分）で85億円超 新型コロナ禍のもと見直しを

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化するなか、4月7日には補助132号線道路拡張計画は都の事業認可を取得しました。住民や地域商店が苦境に立たされる中で、道路整備を優先する東京都・杉並区の姿勢に大きな怒りの声が広がっています。事業費は一期区間（約半分）で85億円を超える状況であり、区間全てで100億円を優超える見通しです。

党区議団は、新型コロナウイルスの終息が見通せない状況で一切の事業着手を止め、事業の凍結・中止を決断し、その費用は住民の生活や営業支援に活用することを求めました。

区は「新型コロナウイルス感染症の終息状況を見定め、着実丁寧に進める」と答弁。道路整備に固執する姿勢を示しました。

東京ガス西部支店が移転 道路拡張の必要性減少

区は道路拡張の理由の一つとして、防災拠点である東京ガスの緊急車両の通行路確保のためと再三説明してきました。一方、東京ガス西部支店の移転解体工事が6月8日より開始されており、道路拡張の必要性は大きく減少しています。

整備理由の一つ「東京ガス西部支店」は移転解体へ

区が発行した文書。
下記赤囲いに整備理由が示されている。



平成30年11月2日

他15名

杉並区 都市整備部
土木計画課長 三浦 純悦

日頃より、杉並区政にご理解・ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。皆様から頂きました要望書は区長が拝読いたしました。ご意見については、担当の都市整備部土木計画課から回答させていただきます。

都市計画道路補助132号線は、昭和22年11月26日に計画決定された都市計画道路です。都市計画道路の第四次事業化計画（平成28年3月東京都・特別区・26市2町）では、東京全体と地域の将来像や課題等を総合的に判断し、都市計画道路の中でも優先的に整備が必要な路線（優先整備路線（※））に選定しております。

この事業の整備目的等については、平成30年9月13日に当課担当職員が伺って説明させて頂きましたが、「防災力の向上」と「拠点の整備、連携」に寄与するものとして、以下のとおり考えています。

まず、「防災力の向上」ですが、当該路線が都の「防災都市づくり推進計画」で主要延焼遮断帯として位置付けられ、緊急輸送道路にも選定されております。災害発生時に幹線道路（青梅街道）と防災拠点（東京ガス）を相互に連絡する道路として、さらに避難道路として活用することを考えています。



解体工事が始まる東京ガス西部支店。党区議団の調査により、移転計画は昨年6月には明らかとなり、議会でも指摘していた。

区は、移転について「承知している」と認めながら「緊急輸送道路としての位置付けがどうなるか分からない」「防災性向上を図る必要は変わりない」と強弁。区自らが主張してきた道路整備の根拠の一つが失われているのにも関わらず、計画の見直しを検討しない態度は極めて無責任です。新型コロナ禍のもとで、税金の使途を再検証することが求められます。

立民・共産・社民が 宇都宮氏を応援表明

市民と野党の共闘で小池都政の転換を求める「呼びかけ人会議」は6月3日、18日に告示が迫った東京都知事選（7月5日投開票）へ向けた会議を都内で開き、野党各党が参加し、立憲民主党が元日本弁護士連合会会長の宇都宮健児氏を応援する方針を示し、歓迎の発言が続きました。



▲会合であいさつする共産・小池書記局長

会合には日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党、新社会党、緑の党の代表が参加。

立民の長妻昭都連代表がコロナ禍の中で新自由主義社会の脆弱（ぜいじゃく）性が表れていることを指摘し「格差と貧困とたたかってきた宇都宮さんを応援していきたい」と述べました。

共産党の小池晃書記局長は「長妻代表の表明をととてもうれしく聞いた。共産党としても宇都宮さんを支援する」と表明。野党が都知事選で統一候補をたててたたくことを党首間で合意してきたことにふれ「できるだけ幅広い市民と野党で共闘体制をつくりあげ、宇都宮知事実現のため全力をつくそう」と訴えました。

小池氏は宇都宮氏が掲げる、①医療・検査体制充実と補償の徹底②都立・公社病院の独立行政法人化中止③カジノ誘致計画中止一の緊急の3課題はどれも切実に実現が求められるものばかりだと強調。「首都の知事選での勝利は暴走と迷走を重

ねる安倍政権への決定的審判になる。宇都宮さんとともに、希望ある東京をつくろう」と訴えました。

社民党の吉田忠智幹事長も「宇都宮勝利へ全力を尽くす」と発言。新社会党、緑の党の代表も宇都宮氏応援を表明しました。

各党の応援心強い 宇都宮氏が表明



会合後半に宇都宮氏が登壇。コロナ禍の中で都民の生存権のかかった知事選だと強調。「一人一人の雇用、住まい、命を守り抜く。保守・無党派の人々との共同も進め、知事選をたたかい抜こう」と訴え。「各党のみなさんが応援してくれたことは大変心強い」と表明しました。

一人一人の雇用、住まい、命を守り抜く。保守・無党派の人々との共同も進め、知事選をたたかい抜こう」と訴え。「各党のみなさんが応援してくれたことは大変心強い」と表明しました。

育メン日誌

待ち望んだ学校再開

6月1日から学校が再開しました。長期間の休校で子ども達にも様々な負担がありました。再開後は、緊張しつつも充実した生活を送っています。一方、分散登校が続いており、早番遅番と目まぐるしく、親子で混乱中です。早く落ち着くと良いのですが…。

宇都宮氏 道路整備等の見直しを明言

6月6日（土）、杉並区内で宇都宮けんじ氏を招いての学習会が行なわれました。

住民からは、都市計画道路事業や駅前再開発の中止を求める要望が出され、西荻窪の道路問題等の関係資料が渡されました。

宇都宮氏は「道路問題は重要。いまの時代に必要か見直しが大事。中止すれば財源も浮き、福祉対策等にも回せる」と見直し等を明言しました。



杉並区内で住民と学習会